

# ゼロカーボンシティ特別区に向けた取組について

令和7年3月18日  
環境課

## 1 概要

- 2023年10月16日、特別区全体で2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロの実現を目指すことを宣言しました。現在、特別区全体で連携して「ゼロカーボンシティ特別区」の実現に向け、4つの連携方策に取り組んでいるところです。
- 今回、令和6年度のゼロカーボンシティ特別区の実現に向けた取組状況について報告します。

➤ 23区で新たな施策を検討・推進するため気候変動対策推進組織を設置

気候変動対策推進組織の4つの連携方策

<b>再生可能エネルギー電力の利用</b> <ul style="list-style-type: none"><li>区有施設への再エネ電力の共同購入</li></ul>	<b>中小企業の脱炭素化への支援</b> <ul style="list-style-type: none"><li>金融機関との連携による中小企業への支援</li></ul>
<b>建物・住宅のZEB・ZEH普及の推進</b> <ul style="list-style-type: none"><li>ZEB化の事例共有、職員知識向上に向けた人材育成</li></ul>	<b>CO<sub>2</sub>吸収量の確保・効果の把握</b> <ul style="list-style-type: none"><li>森林環境譲与税に関する情報共有、活用方法の検討</li></ul>

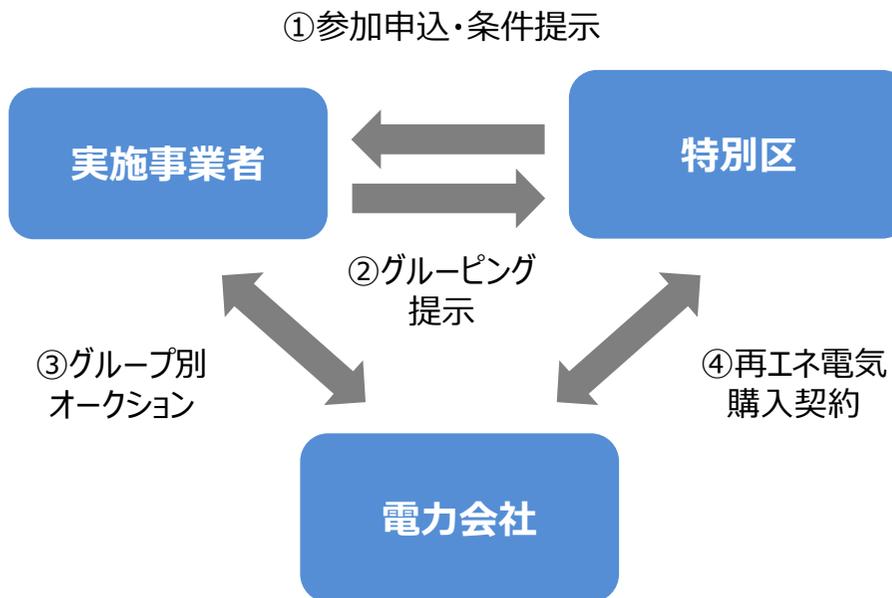
# ゼロカーボンシティ特別区に向けた取組について

## 再生可能エネルギー電力の利用

### 連携方策

- 「再生可能エネルギー電力利用の推進」に向けた連携方策として、まずは区の率先導入として、23区が連携して区有施設への再エネ電力を購入します。
- 各区が再エネ電気を個別調達するのではなく、23区が共同で購入することで温室効果ガス排出量の削減や電力料金の削減の効果が期待できます。

図表 連携方策のイメージ



### 取組状況

- ✓ 23区において勉強会や説明会を実施し、リバースオークション方式による調達手法や、各区の契約条件、施設種別などを踏まえたグルーピングについて検討を行いました。
- ✓ 葛飾区を含めた10区において、リバースオークションを活用した再生可能エネルギー電力の共同調達に参加しました。
- ✓ リバースオークションで落札した小売電気事業者と契約の手続きを進めており、スケールメリットを生かした電力調達コストの抑制と温室効果ガス排出削減の同時実現を見込んでいます。
- ✓ 来年度以降も導入区や施設を増やししながら、利用促進を図っていく予定です。

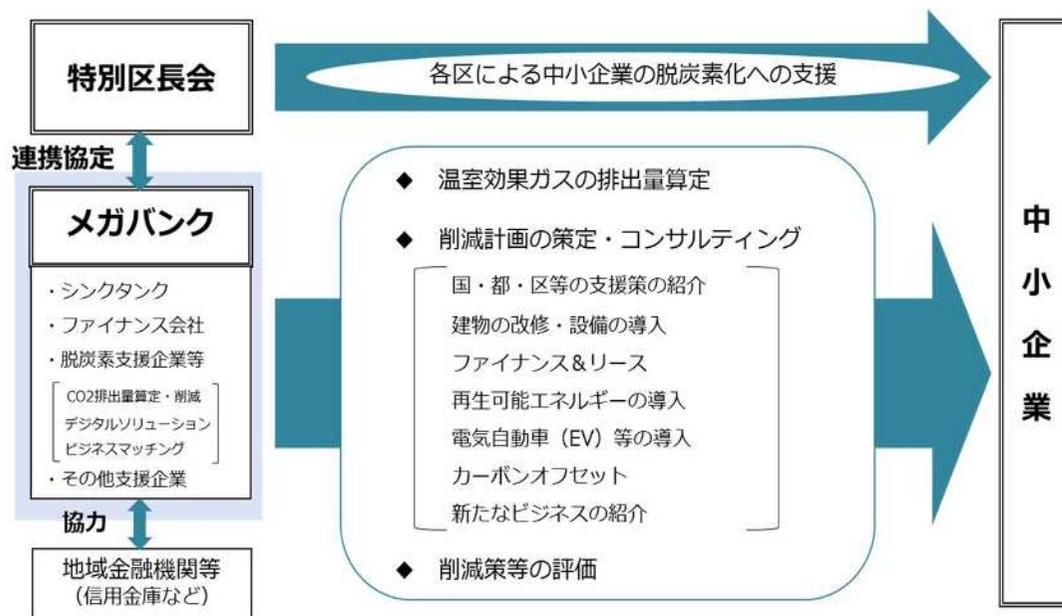
# ゼロカーボンシティ特別区に向けた取組について

## 中小企業の脱炭素化への支援

### 連携方策

- 「中小企業の脱炭素化への支援」に向けた連携方策として、特別区と金融機関等の連携による、中小企業への一体的な脱炭素化支援について検討します。
- さらに、特別区長会は、共同宣言と同時に、中小企業の脱炭素化を進めるため、株式会社三井住友銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社三菱UFJ銀行と連携協定を締結しました。

### ◆ 連携イメージ



### 取組状況

- ✓ 金融機関と連携して課題分析や検討を行い、中小企業の温室効果ガス排出量の把握・測定、いわゆる見える化について、より一層の支援に取り組む必要性を23区で共有しました。
- ✓ 葛飾区は、他区や金融機関などと連携し区内外の企業経営者の脱炭素の意識向上を図るため「脱炭素経営セミナー」を開催しました。
- ✓ また、板橋区においても3月24日（月）に脱炭素経営セミナーを開催する予定です。  
※次頁の参考資料（ちらし）を参照
- ✓ 今後もメガバンクや地域金融機関との連携を強化し、中小企業への支援の充実を図ります。

【葛飾区主催】 開催日：令和7年2月7日（金）

# 新たなビジネスチャンスをつかめ！ 脱炭素経営セミナー



2050年「ゼロカーボンシティ特別区」の実現に向けた取組の一環として、メガバンク、信用金庫、エネルギー関連支援企業と連携した納得のセミナーを開催！  
いまや地域全ての中小企業にとって、「脱炭素」は最重要のキーワードです。  
この状況下、再生可能エネルギーの導入メリットはかつてないほど高まっています。  
そこでこの度、価値創造や経費削減につながる業界最先端の情報をお届けします。

## 株式会社三井住友銀行

最高の信頼を通じてソリューションを提供

## 信金中央金庫

信用金庫の「セントラルバンク」

## 東栄信用金庫

地域のキープレイヤーとして貢献

## 株式会社エナーバンク

エネルギーの専門力で企業支援

## プログラム

ご挨拶 葛飾区長 青木克徳氏



### 1 脱炭素経営始めの一步

地域企業が特に知っておくべき世界的潮流とともに、「出遅れリスク」や「勇み足による過剰投資」を避けるべく、実例を交えてご紹介します。

- 清滝 悠氏  
(株式会社三井住友銀行サステナブルソリューション部)
- 近藤 祐輔氏(信金中央金庫サステナビリティ推進部)
- 磯野 和彦氏(東栄信用金庫常勤理事企業サポート部長)

### 2 首都圏再エネ共同購入プロジェクトについて

コスト削減しつつ、再生可能エネルギーを導入するには？

- 佐藤 丞吾氏(株式会社エナーバンク代表取締役)

日時

令和7.2.7(金)  
18:00-20:00

場所

青戸地区センター エポックホール  
〒125-0082 東京都葛飾区青戸 5-20-6

対象

企業経営に携わっている方

お申込み

参加無料(事前申込み) / 右記 QRコードから申込みフォームに入力  
※会場の都合上、一定の人数に達し次第、会場参加の申込みを締め切らせていただきます。オンライン参加は随時受付しております。

お問合せ

葛飾区環境部環境課 電話 03-5654-6227

オンライン  
同時開催



【板橋区主催】 開催日：令和7年3月24日（月）

ともに進む、ともに実る。

MIZUHO × 特別区長会



事前登録制  
参加無料

# 脱炭素経営セミナー

日時

2025年3月24日(月)  
16:00~17:30

会場

ハイライフプラザいたばし  
/ オンライン (ZOOM)

2050年ゼロカーボンシティ特別区を目指して、事業者・行政等が一体となった取り組みが重要です。本セミナーでは脱炭素化を巡る最新動向や脱炭素経営を支援するソリューション、他社に先駆けて取り組まれている企業の事例等をご紹介します。是非お気軽にご参加ください

## Program プログラム

16:00 事務局からのご案内

### 主催者挨拶

板橋区長 坂本 健



### 第1部 講演

#### 1 脱炭素化で競争力強化！

～脱炭素化を巡る動向と支援メニュー・取組事例のご紹介～

登壇 経済産業省関東経済産業局総括係長 西島 崇氏



#### 2 CO2 排出量の可視化から対外アピールまで、 中小企業が取り組む脱炭素

登壇 e-dash株式会社  
パートナーサクセス部兼マーケティング 部部長 甲斐 綾乃氏



### 第2部 企業事例紹介

#### Local Decarbonization 板橋のある軽工業事業者の試み

登壇 恵友印刷株式会社 代表取締役 萬上 孝平氏



### 主催者挨拶

株式会社みずほ銀行 社会・産業基盤第一部長 高田 修



17:30

# ゼロカーボンシティ特別区に向けた取組について

## 建物・住宅のZ E B・Z E H普及の推進

### 連携方策

- 23区のZ E B化の底上げ、知識レベルの向上を図るため区有施設のZ E B事例の共有や職員の人材育成を図ります。また、区有施設のZ E B化の推進により、区内事業者の技術向上を図ります。

### 取組状況

- ✓ 23区のZ E B公共施設において見学会を行うとともに、東京都主催の研修会への参加や設計事務所によるセミナーを実施
- ✓ 本区の清掃事務所においても、国や他自治体の視察を受け入れ、意見交換を行うなど各区が有するZ E B公共施設に関する事例やノウハウを共有し、専門的な知識の習得に努めました。  

(清掃事務所視察)

開催日 : 令和6年10月21日(月)

参加者 : 環境省、杉並区、市川市、さいたま市、藤野先生
- ✓ 今後は環境部門のみならず、営繕部門などとも連携し、ノウハウの共有を図ります。

## 森林整備の取組による吸収量の確保・効果の把握

### 連携方策

- 23区がスケールメリットを生かして森林整備に取り組むことにより、二酸化炭素吸収量の確保を加速させていきます。

### 取組状況

- ✓ 東京都と連携し、都内の区部と市町村が一体的に森林整備に取り組む「多摩の森」活性化プロジェクトに葛飾区を含む6区6市町村が参加し、森林整備事業等に取り組みました。  

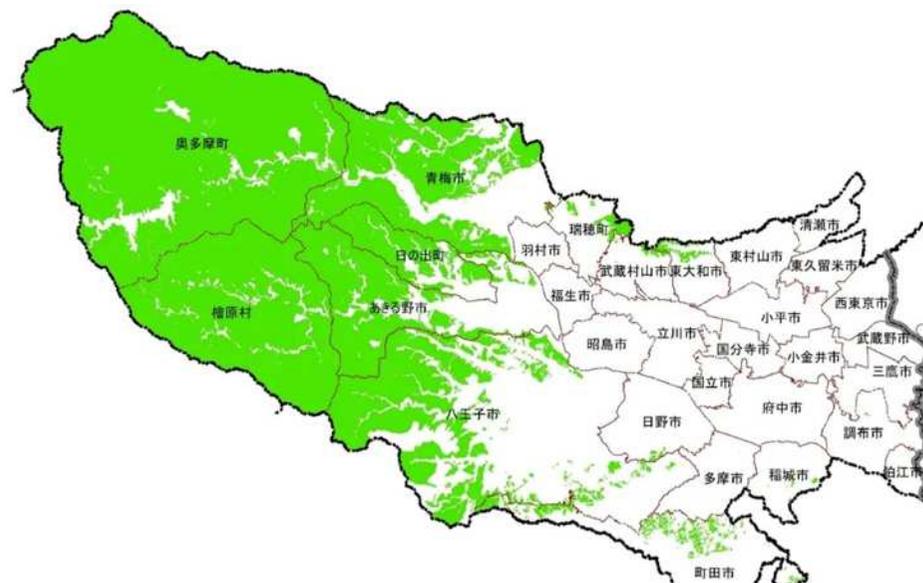
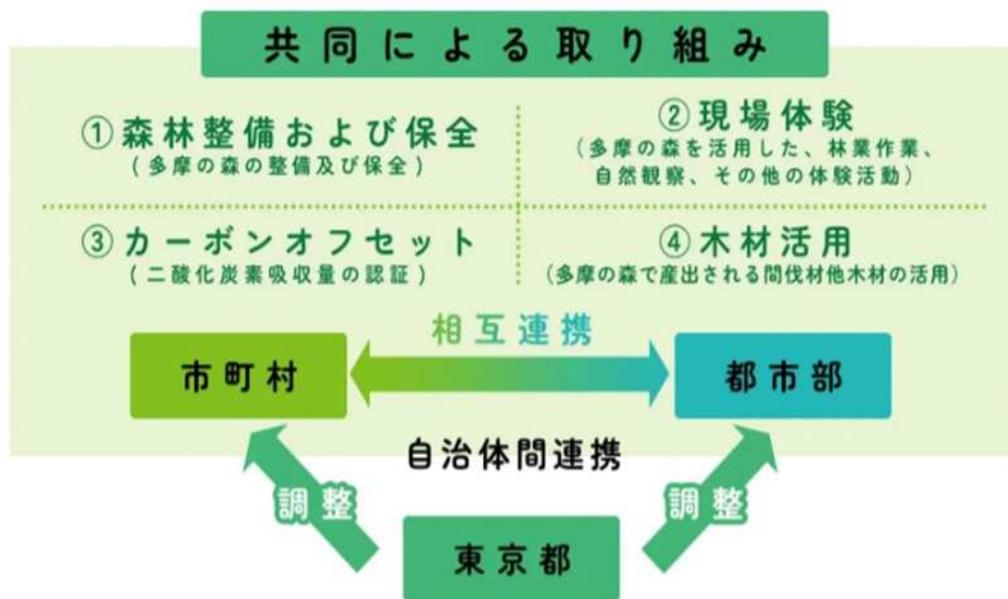
令和6年度に実施した「多摩の森」活性化プロジェクトの取組内容については別紙の資料を参照。
- ✓ 今後は、これまで各区が関係を築いてきた自治体における森林整備に加えて、「多摩の森」活性化プロジェクトを活用した事業展開について検討していきます。

## 「多摩の森」活性化プロジェクト①

### 概要

- 令和5年7月31日に、本区を含む都内6区、6市町村及び東京都が連携して多摩地域の森林整備を進めるため、「多摩の森」活性化プロジェクト推進協議会を発足。
- 各自治体と共同で①森林整備及び保全、②現場体験、③カーボンオフセット、④木材活用に取り組みます。

### 「多摩の森」活性化プロジェクト推進協議会



東京都の森林面積はおよそ約8万haで、都の総面積の4割に相当します。その森林の約7割は多摩地域西部に位置しています。

出典：「多摩の森」活性化プロジェクトホームページより

## 「多摩の森」活性化プロジェクト②

### 森林整備及びカーボンオフセット事業

- 多摩の森の整備及び保全に向けて、令和6年8月から12月にかけて測量及び間伐を実施しました。

ア 所在地及び面積

檜原村南郷 約8ha（村有林）

あきる野市戸倉 約3ha（市有林）

イ CO<sub>2</sub>吸収量（見込み）

330t-CO<sub>2</sub>

### 木材活用事業

- 「小さな多摩の森を探そうフェア」を実施し、木材活用を通じて森林保全の機運醸成や本事業の認知向上を図るため、都内大型書店（8店舗）において、書籍購入者に多摩産材を使用したブックカバーを配布するとともに、森林をテーマにした選書コーナーを展開し、森林保全の機運醸成を図りました。



### 現場体験事業

- 奥多摩町や檜原村の森林を活用した林業体験や自然観察などのツアーを企画し、次のとおり実施しました。

実施月	現場体験内容
R 6.6	森林セラピー体験&間伐材で作るヒノキの香り丸太&数馬の湯入浴
R 6.7	奥多摩森林セラピー散策とテラリウム体験
R 6.10	森のガイドさんと、わくわくな探検をしよう！
R 6.11	奥多摩森林セラピー散策とテラリウム体験
R 6.12	スギの枝や葉でクリスマスリースを作ろう！
R 7.2	冬の山でハイキングと山のお仕事を体験しよう！

（アンケート結果）

- 山の空気や鳥の声、植物を通じてリフレッシュできた
- 参加者や地元の方と交流できてよかった
- コンパクトながら充実していた
- 子どもと楽しく学べた
- 森林や水、環境について考えるよい機会になった
- 次世代を見据えた仕事をされている姿に感銘を受けた
- 日帰りではなく、1泊2日でもよい
- また訪れたいと思う